

## ヒオドシチョウ

春にヤナギ，エノキ，ニレ，ケヤキなどの葉を集団で食べる刺の多いイモムシ（幼虫）。最大長約60mm。体は黒く，黄色の縦縞がある。刺は枝分かれする。

本州ではエノキで多発し，木を丸坊主にすることもあるといわれている。北海道では多発記録はない。

成虫はオレンジ色で黒い斑紋のあるチョウ。

【学名】 *Nymphalis xanthomelas japonica*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， タテハチョウ科 (Nymphalidae)

### 【生態】

宿主：エノキ・ニレ・ケヤキ・ヤナギ。とくにエノキを好む。

年1回発生。成虫越冬。翌春，枝上に卵をまとめて産む。孵化した幼虫は集団で枝葉上に糸をかけて葉を食べる。十分成長すると木を降りて，周囲で蛹になる。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヒオドシチョウ cho/hiodosi/  
kaisetv.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/11.